



伝達式 地方自治の発展・振興に貢献 村上良治氏に旭日単光章～叙勲伝達式

村上良治さん（88歳・綴子古閑）が旭日単光章を受章され、6月30日に市役所で叙勲伝達式が行われました。

村上さんは、北秋田地方事務所農地課在職中に区画整理等の農地改革に尽力されたほか、鷹巣町議会議員として昭和43年から63年まで5期20年の長きにわたり在職し、地方自治の発展と振興に多大な貢献と功績を残されました。

受章伝達を受けて村上さんは「多くの皆さんに支えられて今日がある。このような章をいただきとても感謝している」などと話しました。



交付式 佐藤光子氏を監査委員に選任 北秋田市監査委員 選任書交付式

市議会6月定例会において議会選出監査委員の選任について同意された佐藤光子さん（根田）に、6月28日、市役所で津谷市長から選任書が交付されました。

選任書の交付にあたり津谷市長は「予算が法令に従い適切に執行されているか、目的に沿った使い方をされているか、効果的な使い方なのか監査をお願いする」などと述べました。

交付を受け佐藤委員は「責任重大であるが、しっかりと機能を果たすために勉強しながら職務を全うしていきたい」などと抱負を述べました。



起工式 暮らしを守る地域防災の要 消防署統合分署新築工事起工式・安全祈願祭

北秋田市消防署統合分署新築工事の起工式並びに安全祈願祭が6月14日に上杉字下屋布岱の建設予定地で行われ、施工関係者約20人が工事の無事故と無災害を祈願しました。

神事を終えた後、施主である津谷市長は「現在の分署は約半世紀にわたり地域の消防活動の拠点として役割を果たしてきたが、老朽化などに伴い、新たに統合分署を建設することになった。この工事が円滑に進行し、住民の安全安心な暮らしを守る地域の防災の要として、すばらしい消防庁舎が完成することを願っている」などとあいさつしました。



地域行事 合う川de稚鮎放流事業 「元気に大きくなってね」と園児が放流体験

合川公民館ふるさと体験事業「合う川de稚鮎放流体験」が6月9日に阿仁川と小阿仁川の合流地点となる河川敷で行われ、あいかわ保育園（石崎賢一園長）と子育て支援センターあいかわの園児20人が稚鮎を放流しました。

この放流事業は、郷土愛を育み小さな命が育っていく川の豊かさや限りある水産資源の保護などを考える機会にと、阿仁川漁業協同組合合川支部の共催により行われました。

園児たちは「元気に大きくなってね」と12センチほどの稚鮎約2,000匹を放流し、元気に泳ぐ姿を見送りました。



伝達式 人権擁護活動の功績を称える 中嶋眞知子氏に法務大臣感謝状を伝達

退任人権擁護委員への法務大臣感謝状の伝達式が7月11日に市役所で行われ、7月1日付けで退任された中嶋眞知子さん（住吉町）に感謝状が伝達されました。

中嶋さんは、平成13年に就任以来、21年の長きにわたり市民の人権を守るため相談活動等に尽力され、大館地区人権擁護委員協議会副会長や県連合会理事も歴任されました。

中嶋さんは「長いようであるという間のような気がしている。大変なこともあったが、皆さまに助けをいただきながら活動を続けられたことに感謝したい」などと話しました。



本格運航 東京羽田線3往復化本格運航 大館能代空港羽田線3往復化記念セレモニー

大館能代空港の東京羽田線の本格的な3往復運航開始を受け、7月1日に同空港ターミナルビルで記念セレモニーが行われ、関係者らが喜びと決意を新たにしました。

セレモニーでは、猿田和三副知事が「発着枠は来年10月までだが、観光や産業の後押しで機運は高まっている。北東北3県の連携を図り3便化の実績をしっかり示していきたい」などとお祝いを述べました。また、同空港利用促進協議会会長の福原淳嗣大館市長が「3便化は勝ち取ったもので、これから必死に盛り上げていきたい」などとあいさつしました。



地域行事 3年ぶりに地域に元気を届ける 第38回 ふるさと踊りと餅っこまつり

第38回ふるさと踊りと餅っこまつり（和田テエ子実行委員長）が6月25日に大太鼓の館で行われ、綴子大太鼓の催しなど3年ぶりの開催に賑わいました。

開会セレモニーで和田委員長は「まちに元気を取り戻してほしいとの声を受け開催することができた。小規模での開催だが次回に向けて取り組みたい」などとあいさつしました。

来賓の津谷市長は「皆さまの尽力に感謝する。来年は本来の開催ができることを願うとともに、今後もコロナに負けず地域に元気を届けてほしい」などとあいさつしました。



地域防災 技術に磨きをかけ訓練の成果を発揮 北秋田市 消防訓練大会

北秋田市消防訓練大会が6月19日に市民健康広場で行われ、消防団員約70人が出場し、日ごろの訓練の成果を競い合いました。開会式では、杉淵一弘団長が「有事に際しての備えを万全にしながら、地域住民の安全安心を守っていただけるよう、皆さんの思い切った技術と操作、そしてチームワークと健闘を期待する」などと訓示しました。

大会は、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部が規模を縮小して行われ、優勝した分団は7月24日に開催される秋田県消防協会大館北秋田支部消防操法訓練大会に出場します。

